

2022年4月20日発売

2022
5

特集

CVPPP

—その暴力はなぜ発生したのか

改良型CVPPPがめざす形

CVPPPと出会って—暴力を許すことは可能か

暴力の複雑性と自分自身にある攻撃性の気づき

CVPPPを組織に導入して

児童・思春期の看護とCVPPP ほか

EDITING POST SCRIPT

◆東日本大震災が発生した当時、私は地元である岩手県にいました。住まいは内陸にあったため被害は停電、物の落下程度でしたが、とにかく何が起きたかわからないという状況でした。停電は2日ほど続き、3月の岩手県は寒く、BGM的に流れるラジオの音もあまり耳に入りません。電気が復旧してから、テレビで全体の状況を把握することになりました。感じたことは恐怖や悲しみというより、やるせなさのほうが大きかったです。その気持ちは上京してもずっと、むしろなおさら強くなっています。地元を離れた人間が何をいうのかと自省しながら、いつかこの気持ちに報いるため生きていくのだらうなと思っています。(C)

◆今回の特集の座談会にも参加いただいた佐藤照美さんには、2011年5月号に緊急でご自身の被災体験をご寄稿いただきました(座談会の末尾にその一部を掲載しています)。ほぼ震災直後と言っていい時期に書かれたあの文章をいま読み返すと、特別な意味合い帯びて迫ってきます。多くのものが失われたあの事象から、いまの、未来の私たちにとって助けとなる何が導き出し得たのか、冷徹な眼差しで、過去が現在を見つめているように思うのです。(S)

■お詫びと訂正

2022年3月号に掲載した「研究報告」の執筆者の所属に一部誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、以下のように訂正いたします。

誤) 高崎健康福祉大学保健医療学部

正) 高崎健康福祉大学健康福祉学部

STAFF

◆月刊「精神科看護」編集委員会 編
金子亜矢子(一般社団法人日本精神科看護協会)
小宮浩美(千葉県立保健医療大学健康科学部)
佐藤恵美子(一般財団法人聖マリアンナ会東横恵愛病院)
木戸芳史(浜松医科大学医学部)

◆協力
一般社団法人日本精神科看護協会

◆EDITOR
霜田 薫 / 千葉頌子

◆DESIGNER
田中律子 / 浅井 健

◆ILLUSTRATOR
BIKKE

◆発行所
(株)精神看護出版
〒140-0001 東京都品川区北品川1-13-10
ストークビル北品川5F
TEL.03-5715-3545 / FAX.03-5715-3546
<https://www.seishinkango.co.jp>
E-mail info@seishinkango.co.jp

◆印刷 山浦印刷株式会社
●本書に掲載された著作物の複製・翻訳・上映・譲渡・
公衆通信(データベースの取込および送信可能化権
を含む)に関する許諾権は、小社が保有しています。

2022年4月号 vol.49 No.4 通巻357号
2022年3月19日発行
定価1,100円(本体価格1,000円+税10%)
ISBN978-4-86294-261-6

精神科看護

定期購読
のご案内

月刊「精神科看護」は定期購読をおすすめします。送料、手数料は無料でご指定のご住所へお送りいたします。バックナンバーからのお申し込みも可能です。購読料、各号の内容、申し込み方法などは小社webサイト(<https://www.seishinkango.co.jp/>)をご確認ください。